

平成28年度 地域懇談会（日高支所管内） 記録	
日 時	平成29年2月1日（水） 午後7時から8時15分まで
場 所	日高交流センター 2階1号会議室
出席人数	(1) 市民 5人 (2) 事務局 教育長、教育部長、学務課職員、適正配置推進室職員 計10人
内 容	(1) 学校の適正配置について (2) 意見交換
事務局説明	(1) 資料1について (2) 小中学校適正規模に関する意識調査（途中集計）について [資料なし] (3) 日上市学校教育振興プランについて
意見交換	<p>(質 問) (開始時間に遅れてしまったので) アンケートの目的と経緯、この懇談会の目的を教えてほしい。統合を考えてのことか。</p> <p>(事務局) 少子化を背景に学校が小規模化している。きめ細かな指導ができる一方で、クラス替えができないなどの課題もある。子どもが減り続ける中で様々な影響が出てくる。より良い学習環境のために考えていこうとしている。 統合の手法もいろいろあるし、学区の見直しなども考えられる。</p> <p>(質 問) アンケートの中で「統合はやむを得ない」と答えた人の内訳を教えてください。(統合を経験した人が答えているのか。)</p> <p>(事務局) 日上市では、平成17年に高原小と楡形小を統合したのが直近。統合を経験された方は多くないだろう。</p> <p>(教育部長) 今後、詳細な集計を行うと、具体的な分析ができるだろう。 統合を考える際、小学校区はコミュニティと一緒にいるので、学校だけでは考えられない。とはいえ、子どもたちは減っていくので考えていかななくてはならない。</p> <p>(意 見) 統合されてバス通学になると歩かなくなり、健康状態が悪くなる。体力が落ちる。統合ありきではないということなので安心したが、健康が保てなくなると医療費もかかる。そのようなことも考慮してほしい。</p> <p>(教育部長) 小学生が歩ける範囲というものもある。現状が変わることに抵抗があるのは当然。学校の立地もある。</p>

(意 見)

(懇談会に) 来たくても来られない人もいる。動画で見られるように、ネット配信の等の工夫をしてほしい。

(事務局)

随時、ホームページ上で公開していく。
地域懇談会等の開催時間や広報も工夫していきたい。

(質 問)

通学距離の想定はどのくらいか。そこから外れる子どもたちをどう考えるか。以前なら30分で歩けた距離に45分かかる。冬場の下校時には、薄暗くなってしまう。いくら教育の質を上げても、途中で事故があっては問題だ。

公民館活動など大きな区域で活動していたものを交流センター活動(小さな区域の活動)に変えたものが、(学校が統合になると)また大きくするということになる。子どもの教育の質で論じても、他がついてこない。人数が多いのは高齢者の世代であり、意見として出てくる割合が大きい。

(事務局)

小学校の通学距離は4km、中学校は6km、通学時間は1時間以内という基準がある(国の手引)。日立市内の児童生徒の最長通学距離は、小学生(徒歩)で2.8km、中学生(自転車)は4.2km。アンケートの結果からも通学の安全性への関心が高いことが分かっているので、統合の場合は、子どもたちの安全第一に十分配慮していきたい。

様々な活動団体の再編については、市長部局とも連携しながら検討していく。

(教育長)

皆さんのご意見を伺ったりするのは、すべては子どもたちのためである。子どもたちの10年後、20年後に地域で生活している姿を思い浮かべながら検討していきたい。

(教育部長)

コミュニティ組織も含めて、今のままでいいのか、維持できるのかということもある。10~20年の間には、市全体としてダイナミックに変わる時期が来ると考える。知恵を出していく時期にある。

(意 見)

コミュニティの活動に関わっている人は、子どもの頃からのつながりで活動している人が多い。準備期間を十分取らないと新しいつながりができない。

防災倉庫は2kmを目安に配置している。その理由は、学校間が約2kmで、そのくらいなら高齢者も歩けるから。防災の拠点施設をどうするか。教育の質だけでは、市民全体の賛同は得られないと思う。

(意 見)

通学の距離が遠くなると、児童クラブへの迎えに時間通りに行けない。共働き家庭にとっては負担になる。スクールバスも頻繁には出せないだろう。学童の場所が学校から交流センターに移れば、家から近くなる。

学童の場所・時間なども含めて考えてほしい。

(教育部長)

日立市では、学校の中で児童クラブを実施している。時間、数とも充実させる対策を取っている。学校の中なら安全が確保できる。

(意見)

学童の時間の中で迎えに行けなくなる。民間に行かなければならなくなるが、民間は数がない。

(意見)

今の小学1年生に4kmは歩けない。荷物も重い。子どもたちが歩けるか試してから考えてほしい。子どもたちの現状、体力を考えて。基準だけではできない。

(事務局)

一つの目安である。できるだけ遠距離にならないように配慮したい。

(意見)

自分の子どもを見ていても歩けないと思うが、子どもに体力をつけてもらうしかない。

(教育長)

貴重なご意見、お子さんの様子を伺うことができた。
様々な資料を提示しながら、共に考えていきたい。